

奥会津 だより

2001年初夏
第6号

ばあちゃん もっと教えて!



じてん車ではしると風がきこえるよ

歳時記の郷・奥会津俳句大賞特別賞

小中高生の部 「歳時記の郷・奥会津俳句大賞」

三島小学校 五井嵐たかひろ

「只見川電源流域 振興協議会の歴史」①

平成元年、国がリゾートブームに湧き出した頃、福島県でも会津フレッシュリゾート構想が打ち出されました。しかし、只見川、伊南川流域の町村はその指定区域に入ることができませんでした。そこで、流域首長よりリゾート構想とは異なる町づくりの提唱がなされ、同年、これを推進する母体として発足したのが只見川電源流域振興協議会です。

設立した背景には、「恵まない地域をどうにかしよう」という強い熱意があり、今まで交流もなかった町村を一つにまとめてきました。その時、圏域の共通名称を「歳時記の郷・奥会津」と決め、流域連携による共同事業がスタートしたのです。

協議会は各町村の首長と担当課長による幹事会で構成され、事務局は平成7年度までは三島町、平成8年度以降は只見町に置かれています。

シリーズ「地域活性化とは」①

協力と 共生の精神

集落の人たちがお互いに労力を交換しあう「結」という習慣が、今も奥会津の各地に残っています。お年寄りや男手のない家にとっては、生活を支え

る大切な仕組みです。集落の結束は、暮らせるこの地域の価値を大切にしたいと願っています。お金という安心感、お金が無ければ何もできないというあきらめにも繋がりがありません。

しかし、地域を作る原点は、お互いを思いやり助け合う「結(協力・共生)」の精神にあると言えるでしょう。この精神を貫くものは金銭ではなく、信頼と責任です。わたしたちは、互いの信頼とそれぞれが自分に課す責任を取り戻し、都会のような生活に汲々とすることなく、多少不便でも人が人らしく

ウォーク

日本ウォーキング協会公認コース

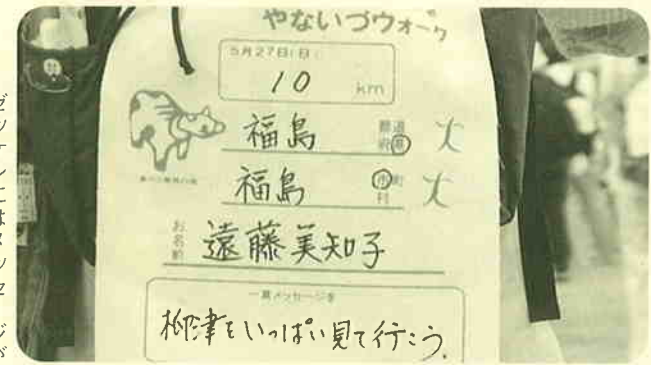
会津高原しらかばツアーウォーク

館石村



5月のきらめく陽を浴びて歩く

ウォーキングの醍醐味という歩くことの爽快感はもちろん、出会いやふれあい、そして新鮮な発見があると答える人も少なくないようです。「赤カブの花って黄色かったんだ!」「知らなかったのかよ?」。館石村・会津高原たかつえスキー場をメイン会場に、5月19日・20日の両日行われた「会津高原しらかばツアーウォーク」での、小さな発見のひとつ。会津高原を歩いて満喫しようと、2日間で約800名もの参加者がここに集いました。完歩後は実行委員会による「熊汁」のもてなしも。参加者も来年の再訪を誓ったようです。



ゼッケンにはメッセージが

歴史と文化のやないづウォーク

柳津町

歴史と文化のやないづウォークに集まったのは約950名。福満太鼓の勇壮な響きに見送られて、薄曇りのあぜ道を歩く参加者の足取りは軽やかでした。日本ウォーキング協会の公認コースに登録されたことから、東京、千葉、静岡など、県外からの参加も多かったようです。「歴史・文化・温泉。この3つが一緒に楽しめるというのが魅力ですね。」千葉から参加の老夫婦は、奥会津のあたらしいコースへもチャレンジしたいと、静かな意欲を燃やしていました。

13年度総会が開かれました



活発な意見が交わされた総会 於「花木の宿」

奥会津9か町村の町村長が出席しての13年度只見川電源流域振興協議会の総会が、5月16日、伊南村・花木の宿で開かれました。平成12年度から開始された「新 歳時記の郷・奥会津」事業は、平成2年以來続けられてきた第1期事業の反省点を踏まえ、特に住民参加、広域連携の強化を念頭に置いた取り組みが展開されたと報告。今年度の計画として「広域交流・観光PR事業」「うつくしい環境保全事業」「自然・文化の大回廊事業」「奥会津研究会事業」が討議され決定しました。こうした事業が地域住民の理解を得るに十分であるか、さらには関わりにどう繋ぐかという課題も提起され、住民主体の事業を貫こうと確認しあった総会でした。

宝物って何？

平成12年度にスタートした「奥会津の自然再発見プロジェクト」もいよいよ2年目に入りました。今年度からは、これまでに集めた情報をもとに、奥会津の宝の原石を一つずつ掘り起こし、地域のみなさんに宝物の本当の姿を見ていただけるよう、さらに調査を進める予定です。

「奥会津だより」のこのコーナーでは、毎回、本プロジェクトを通じて得られた奥会津の宝物に関わる様々な情報をお伝えしていきます。みなさんも一緒に「奥会津の宝物」を再発見してみませんか！

今回のテーマは”水”です。

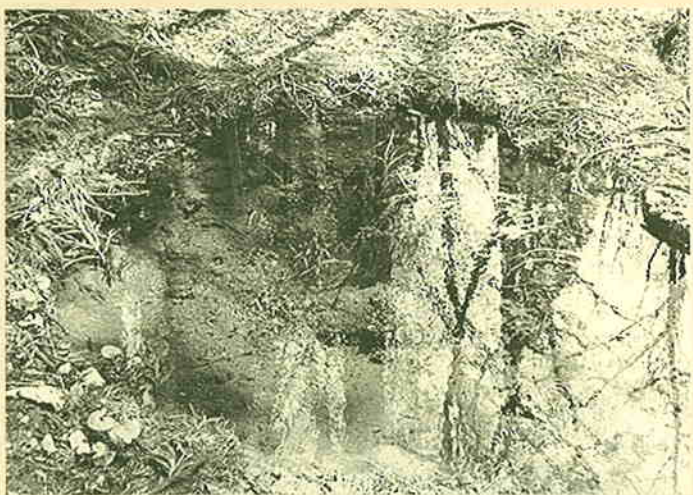
奥会津地域は、阿賀野川水系の只見川流域に含まれています。この流域には、一年間に約56億³m³の雨が降り、その雨水の大半は地表を流れたりあるいは地中を通って、いずれは川に流れ込みます。地表を流れ下る水はすぐに川に達しますが、地中にしみ込んだ

水はゆっくりりと土壌や岩石を通り抜け、いろいろな物質を水の中に溶かし込みながら川に至ります。

我が国では近年酸性雨の影響が懸念され、雨水は酸性(pH4.6~4.7)に偏る傾向にあります。しかし、奥会津地域の河川の水質はpH5以下になったことはなく、ほぼ中性を保っています。これは、この地域に降った雨水が地中をゆっくり移動している様々な物質と混ざり合う過程で、雨水が中和され中性に近くなるからです。

厚生労働省によると”おいしい水”の条件はpH6.0~7.5とされています。奥会津地域では”おいしい水”が宝物の一つですが、その水は、雨が地中に染み込み蓄えられゆっくりと移動していくことで作られているのです。

只見町は国土交通省が選定する「水の郷百選」に選ばれていますし、南郷村の清水は林野庁の選定する「水源の森百選」に、昭和村の玉川溪谷や館岩村の鱒沢川は「ふくしまの水30選」に選ばれています。また、昨年の調査



結果では、奥会津地域には名水と呼ばれる清水や湧き水が少なくとも30箇所あることが分かりました。

今年はこちらの名水の一つ一つがどんな特徴をもつ水なのか、科学的に調べることになりました。興味のある方は是非調査に参加し、今まで当たり前だった”おいしい水”の正体を確かめてみませんか？

調査に参加ご希望の方は、お気軽に奥会津各町村役場の企画担当課・只見川電源流域振興協議会担当者までご連絡ください。

今年はじめのエコハイクは

只見・蒲生岳

田部井淳子さんと一緒に会津のマッターホルン・蒲生岳に登りませんか。

◎日時：7/1(日) 蒲生岳登山・交流会

◎会場：只見町

◎問い合わせ：只見町観光まちづくり協会

電話0241(82)5250

トピックス

奥会津研究会

これまで、奥会津9町村の有志が一同に集まって、地域の資源の掘り起こしや町づくりについての研究会を重ねてきましたが、より活発な活動を繰り広げるためには、町村単位の仕組みが必要になってきました。そのため、それぞれの町や村ごとに地域づくりの世話人を依頼し、今年度より新たな「奥会津研究会」が再始動しています。

現在、世話人9名。自分の住む地域づくりへの意欲に燃えるリーダーに期待が寄せられています。次号から、世話人の方々をこのコーナーで一人ずつ紹介していく予定です。

出入り自由の緩やかな研究会にしたい。随時会員募集中です。



△ご意見・ご質問をお寄せ下さい！

只見川電源流域振興協議会の活動に関するご意見やご質問をお寄せ下さい。

ここはみなさまからの声を伝え、活動に結びつけるコーナーです。

連絡先 只見町役場企画課内 電源流域振興協議会事務局 担当 目黒・佐藤まで

電話0241(82)5220

いべんと告知板

フォトコンテスト

今年第6回を迎える「歳時記の郷・奥会津フォトコンテスト」は、新しい企画が盛りだくさんです。

◆竹内敏信写真展「奥会津秀麗」

会期：7/7(土)～8/20(月)
9:00～17:00

(会期中無休)

場所：ただみ川のものしり館

入場料：大人300円

小人200円

◆講演会・竹内敏信氏

日時：7/7(土)

15:00～16:00

場所：只見地区センター

◆竹内敏信先生と行く「写真・文化の郷―奥会津―ロケハンツアー」

日時：7/6(金)・7(土)・8(日)

撮影場所：歳時記の郷奥会津地域

募集人数：120名

講師：竹内敏信氏 他7名



風景写真の第一人者・竹内敏信氏

問い合わせ：

会費等の詳細については、

(株)フレイムマンフォトテクノ

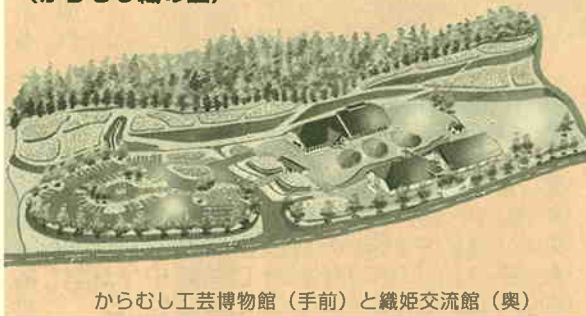
電話：03-13452-11327

(担当：細野まで)

「からむし織の里」オープン!

7月1日、昭和村の文化的な精神の拠り所「からむし工芸博物館」と、たくさんの体験メニューと物産販売で交流を図る「織姫交流館」が誕生します。

〈からむし織の里〉



からむし工芸博物館(手前)と織姫交流館(奥)

◆からむし工芸博物館

ところ：大沼郡昭和村佐倉

入場料：大人300円

小人150円

問い合わせ：昭和村役場企画課

電話：0241-5712181

◆織姫交流館

主な体験内容

「からむし織一日体験コース」

・糸づくり・高機織り(要予約)

「フリー参加の高機織り」

問い合わせ：

奥会津昭和村振興公社

電話：0241-5712204

清流に親しむ 各市町村の取り組み その1

住民が中心になって手がけてきた河川の周囲の保全や美化運動は、昨年に引き続き9か町村・15団体によって実施されます。

フェアリーロード)

昭和村

◆からむし織の里花いっぱい運動

佐倉地区

柳津町

◆清流と触れ合う環境整備事業

柳津清流を守る会

(親子でカヌー教室、滝谷川清流マス釣り大会、花いっぱい事業)

◆カジカ学校

せつげんの会

(カジカ稚魚放流、川の生物調査)

◆駒止湿原散策とブナ植林事業

峠路のケヤキ保全協議会

◆尾瀬街道ミニ公園整備事業

尾瀬街道三島町西方地区美化活動実行委員会

(桜の植栽、竹林の整備、芝生の植栽)

◆尾瀬ウォーキングツアー

尾瀬街道歩こう実行委員会

(尾瀬ハイイク魚放流、つかみ取り)

◆只見町

◆かじつかの学校

かじつか計画推進委員会

(河川ごみ拾い、川くだりインストラクター養成、カジカ放流)

◆伊南川みずべの学校

明和地区センター運営委員会

◆金山町

◆出合い触れ合い清流祭り

環境整備事業

野尻川の魚を育てる会

(魚つかみ取り、清流祭り、エコハイイク、緑化事業、カジカ等養殖事業)

◆只見川流域緑化事業

すみれ会

(花苗の栽培、植栽、

(続)

EVENTカレンダー 7月～8月

◎月日◎名称(★要予約) ◎町村から一言

7/1	からむし織の里オープン 三岩岳山開き	昭和村 伊南村	からむし工芸博物館・織姫交流館が開館します。 参加者は「窓明の湯」入浴料が割引に
7/8	西根川溪流釣り大会 町民ソフトボール大会	館岩村 柳津町	木賊・湯ノ花温泉に宿泊の方は参加料割引 19:30～海洋センター総合グラウンド
7/14・15	カナディアンカヌー・レベルアップ講習会	金山町	静水での講習を実施
7/20	アユ解禁	南郷村	朝5:00より解禁
7/22	浅草岳山開き	只見町	6:30より只見沢登山口で式典、7:00登山開始
7/21・22	からむしフェア	昭和村	各種体験ができます。
7/25	ダイワ鮎マスターズ	南郷村	日本最大の鮎釣り大会のAブロック決勝
7/28	会津高原たていわ夏まつり	館岩村	会津高原牛の丸焼き、花火大会など
7/29	子供溪流まつり	館岩村	湯ノ岐川の特別区間でつかみ取りやイカダ体験
7/28・29	ネイチャースクール2001in 檜枝岐村	檜枝岐村	山人の暮らしと尾瀬の自然体験 (財尾瀬保護団体 027-220-4431)
8/4・5	水の郷まつり 真夏の雪まつり	只見町 檜枝岐村	只見湖全国釣り大会 雪上ビアガーデン、スノーボード大会など
8/8	湖と妖精のフェスティバル	金山町	沼沢湖上での「大蛇退治」、コンサートなど
8/10	川で学ぼう、川で遊ぼう	檜枝岐村	村内小・中学生を対象としたイワナ放流事業
8/10	流灯・花火大会	柳津町	19:00～2000発の花火を打ち上げ
8/12	久川城まつり	伊南村	久川城太鼓はじめ太鼓の競演など
8/18	鎮守殿祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	17:30～上演 入場無料
8/26	いきいき三島夏まつり	三島町	夏の1日を満喫できる催し盛りだくさん
8/27・28・29	バリ・民族音楽と桐ギターコンサート	三島・金山・昭和	「ガムラン」とアコースティックギター